

## 「水引|中学校の港六尺棒踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立水引中学校
2. 学年・人数	1～3年生 55人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和7年4月～5月 水引中学校体育館・校庭 (2) 発表の日時・場所 令和7年5月19日 水引小中学校合同運動会 水引中学校校庭 (5月18日(日)に予定していたが雨天順延になった。)
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 港六尺棒踊り(みなとろくしゃくぼうおどり) (2) 由来 港町に伝わる郷土芸能である。鎌倉時代や戦国時代に始まったといわれる。各地で戦乱が相次ぎ、農地荒廃、賦役頻繁、自衛のための武器所有も許されずという有様で、農民は、棒で護身するしかなかった。港地区では昭和27年に青年団により踊られたのを最後に長年途絶えていたが、70歳代の方々が中心となり50年ぶりに復活した。現在、保存会の方々が中心となって継承し、毎年6月に新田神社に踊りを奉納している。 (3) 構成等 6尺棒を使った「棒踊り」、8人が1組になり、歌者の「おーせーへーろー…」という歌に合わせ、踊り手が「さーさーさ」というかけ声を出しながら、棒を体の上・下部で打ち合わせてたたいたり、棒で地面をたたいたりして踊る。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	第1回目の練習時に、港六尺棒踊り保存会の方から「棒踊り」の歴史や由来、保存会の活動等について生徒に説明してもらい、生徒の興味や関心を高めるようにした。また、5月に行った水引小中学校合同運動会では、生徒と棒踊り保存会の人たちが一緒になって港六尺棒踊りを披露し、文化財を伝承する意図を内外に示すことができた。生徒は意欲的に練習に取り組み、愛郷心を高めるよい機会となっている。
6. 取組の様子(練習状況、発表の場等)	 <p style="text-align: center;">練習の様子</p>  <p style="text-align: center;">運動会での発表</p>
7. 感想・意見(参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	<p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度もしたので、すぐに思い出すことができた。リズムに合わせるのが難しかった。</li> </ul> <p>【教職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方が教えに来てくださり、指導してくださるのはとてもありがたい。棒1つあれば、踊っている人を囲みながらみんなで盛り上がるのもよい。私も実際に踊ってみて、生徒と楽しく取り組むことができた。</li> </ul> <p>【保存会から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導者の高齢化があり指導を続けることが難しいことから、残念ながら今年度で指導することが終わることになった。</li> </ul>